

# 東日本大震災・新型コロナウイルス感染症拡大が 障害者の就業・生活に与えた影響についての分析



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター研究部門 社会的支援部門

○堀 宏隆（障害者職業総合センター 上席研究員）

野口 洋平（元障害者職業総合センター）

武澤 友広 稲田 祐子 田川 史朗（障害者職業総合センター）

## 目的

- 2011年の東日本大震災や2020年以降の新型コロナウイルス感染症拡大がもたらした社会情勢の変化が障害者の就業及び生活にどのような影響を与えたのか、長期縦断調査（職業サイクル調査）での自由記述における回答内容を分析し、影響の質的側面を中心に明らかにすること

### 【職業サイクル】とは

職業人生における就職、就業の継続、休職や復職、離職や再就職、キャリア形成、そして職業人生からの引退に至る多くの労働者に共通する体験の全体をとらえた造語

# 方法

## ■ 質問項目

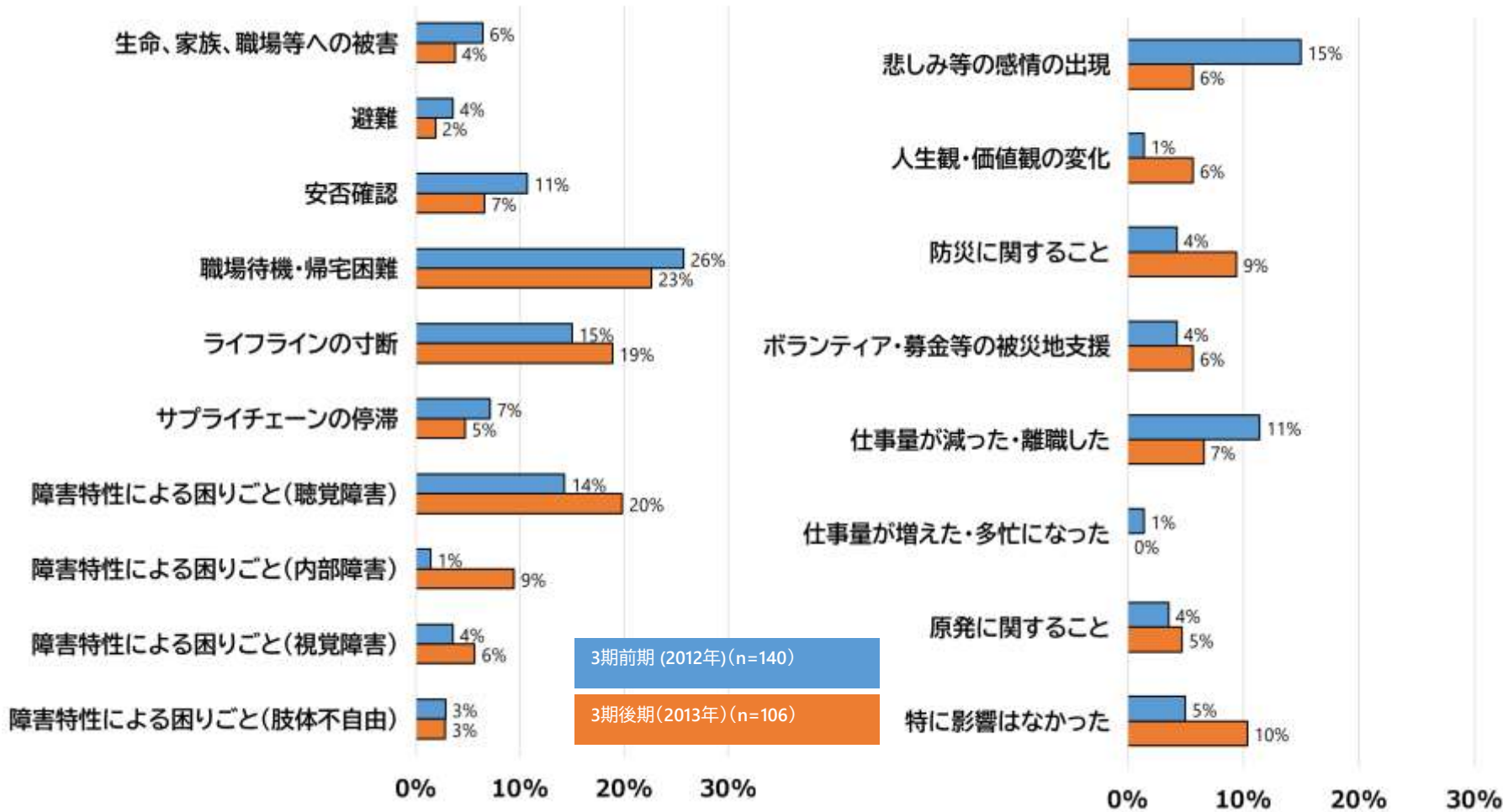
- 「平成23年3月11日の東日本大震災について伺います。あなたご自身の体験やご家族や仕事先で起きたこと、またそれらの体験の中で特に困っていることなどありましたら（回答枠）の中に自由に記入して下さい。」
- 「新型コロナウイルス感染症への対応により、あなたの仕事や日々の暮らしに変化はありましたか。変化があったと回答された方は、具体的な内容を（回答枠）の中に自由に記入して下さい。」

## ■ 分析方法

回答を内容の類似性により分類し、具体的内容の詳細や特徴を踏まえ、それぞれが障害者の就業及び生活にどのような影響を与えたのかを概略的に明らかにした。

# 東日本大震災の影響に関する自由記述の分類

「職場待機・帰宅困難、ライフラインの寸断に関する記述が多かった」



# 「生命、家族、職場等への被害」「避難」について

## ■津波による事業所の浸水など、甚大な被害の様子が述べられていた

肢体不自由	55歳	会社が多賀城市で海から1kmない所でした。もう少し会社を遅く出てたら津波の被害に有ったと思います。仕事場の一階事務所は天井迄水につかりました。震災以降会社へは行ってません。退社しました。
知的障害	26歳	仕事で、福島県白河市に行って、トラックに、にもつをつもうとしてた時にじしんが来て、立ってられないくらいにのじしんで、帰りの道路も家のやねのかわらも、こわれて、すごかった。家と会社は特にはひがいは、なかったけど近くでは、どしゃくずれがあつて、家がおちた所もあつた。

## ■階段を担いで降ろしてもらった肢体不自由者の様子などが述べられていた

聴覚障害	37歳	避難の誘導、聞えなかった。当時、けいたい電話、緊急警報(津波、地震)搭載されてなかった。情報がわかりにくかった。計画停電の時、作業になるとき、上司の人と携帯メールで連絡した。
肢体不自由	22歳	6Fで仕事をしていたため、エレベーターが止まり、階段でかついでおろしてもらった。電動車いすは6Fにおきっぱなしにするしかなかった。

※ 原文ママ

# 「安否確認」「職場待機・帰宅困難」について

## ■ 携帯電話の不通により家族との安否確認が行えなかったことなどが述べられていた

視覚障害	31歳	子どもが生後5か月で、散歩中に震災に合いました。家は停電になってしまい、ケタもつながりづらく、家族と連絡が取れず、とても不安になりました。実家が近かったのでよかったですが、連絡がつくまで心細かったです。
聴覚障害	53歳	たまたま具合が悪かったので、寝てしまいました。家で、一人でしたので不安いっぱいでした。主人は仕事、娘(2人)遠く離れてる東京、息子(上)大学生、下の子(学生)それぞれ安全か心配でした。連絡がついたのは夜(夕方以降)でした。地域と連絡する方法がなかったので不安でした。

## ■ 交通機関の停止により帰宅できず、会社に泊まったことなどが述べられていた

視覚障害	36歳	帰宅困難者となり、会社に泊まった。友人達から連絡はもらうが、回線がパンクして、連絡をとる手段が会社のPCしかなかった。会社で毛布が配られたので自分の机の中にもぐって休んだ。
知的障害	47歳	電車が止まって池袋駅がすごい混雑となり家に帰れなくなった。明け方になって電車が近くの駅まで動いたので駅まで家族の者に車で迎えに来てもらった。(回答者の母親より) 障害者なので、どのように判断したら良いか解らないので、会社で落ちつくまで待機させて頂けたらと思いました。携帯電話は持っていません。

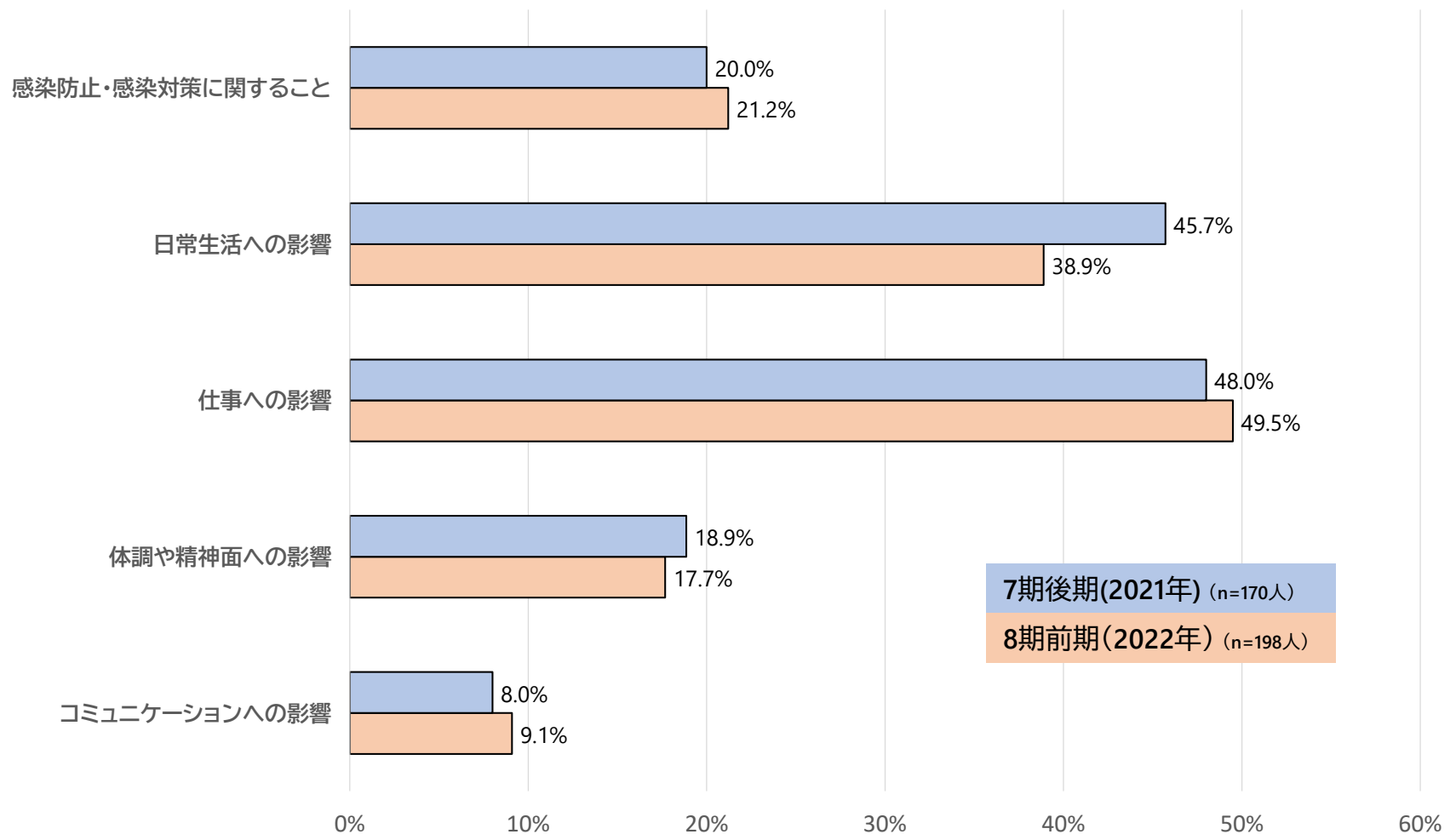
# 「障害特性による困りごと」について

## ■ 障害特性により、職業生活を含む日常生活に困難が生じていることが述べられていた

視覚障害	40歳	計画停電など生活に密着した措置がありましたが、必要不可欠な情報が視覚障害者には取りづらく苦労しました。詳細についてテレビでは字幕、ホームページでは音声で読みづらいpdf形式、電話は全くつながりませんでした。
聴覚障害	49歳	聴者間での口コミによる情報量とは桁違いに違うことがよくわかった。スーパーのトイレットペーパー売出しなどの情報も同じで、聞こえないと情報がなかなか入らず、不安が増した。地域に住む高齢聾啞者が計画停電の情報を求めて、よくうちの職場に来ていた(福祉施設なので)。
肢体不自由	49歳	やはり障害者が一番困るのはトイレや体育館などでの避難場所だと思います。体育館などは未だに段差が多く残されていると思うので、スロープに改善されるべきだと感じています。
内部障害	55歳	透析は水や電気のライフラインが重要ですが計画停電や断水等により、2、3ヶ月、関東でも透析が十分にできないことがありました。

# 新型コロナウイルス感染症の影響に関する自由記述の分類

「日常生活への影響や仕事への影響に関する記述が多かった」





「感染防止・感染対策」「日常生活への影響」について

■ パーテーションで囲まれた環境により、情報保障に苦慮していることなどが述べられていた

聴覚障害	64歳	感染対策防止のため、1人1人のデスクが紙製パーテーションで囲まれ、周囲が見えないバリアとなり、不安定な情報保障に苦労した。
精神障害	52歳	コロナ前は、気にしていなかった基本的な生活（うがい、手洗い、マスク着用、外出、外食）を気にするようになった。すごく敏感になり神経質に生活するようになった。

■ 外出自粛の影響で友人との交流が減り、運動不足に悩む様子が述べられていた

視覚障害	57歳	友人関係：お互いに時々会って励ましあっていた、会うことができずにつらい。 日常：最低限の外出を心掛けるため、これまで以上に運動不足になった。
肢体不自由	52歳	買い物も週1回とし、1週間分の食糧をまとめ買いしていますが、日持ちする食べ物となると、パスタ、素麺等の乾麺が中心となり、栄養のバランスが崩れています。早く元の世の中へ戻って欲しいと思います。

# 「仕事への影響」について

## ■ 仕事量の減少や、体調悪化から離職する精神障害者の様子などが述べられていた

視覚障害	44歳	収入は、1 / 3に減り、家族の感染、予防接種後など、休む日も増えた。自分の収入だけで生活は困難になってしまいました。
内部障害	53歳	親会社の方に中国からの材料が入らなくなったことがあり、仕事ができなくて休みの日が増えた。
精神障害	42歳	在宅勤務の導入、業務内容変更による体調悪化からの休職→退職。
精神障害	56歳	仕事に関しては変化無かったが、自分の障害の病気が悪化して働ける状態ではなくなり、5ヶ月間休職して、自己都合で辞めました。その発端が、コロナウイルスの日々の過ごし方の変化に対応できないことが原因かと思われます。

「体調や精神面への影響」「コミュニケーションへの影響」について

■ 基礎疾患がある内部障害者の不安などが述べられていた

内部障害	58歳	私自身に基礎疾患があるため、友人、知人と会う事、又、家族とも出掛ける事が減り、とにかくストレスがたまる。ワクチンは2回済んでいても、長引くコロナウイルスの感染力の強さに不安はぬぐえない。
精神障害	53歳	前職（R4年3月31日退職）では完全リモートワークになり、気軽に質問もできず独りで黙々と仕事をする事に、不安を覚えた。そしてうつになった。

■ マスク着用により、意思疎通に苦慮する聴覚障害者の様子などが述べられていた

視覚障害	60歳	人とのコミュニケーションの機会が大幅に減った。好きな旅行、外食などができなくなった。
聴覚障害	39歳	マスクを着用している人から、話しかけられても何をいっているのかわかりません。私は聴力が厳しいため口形をみないと、言葉を聴きとることはできません。しかし、相手にマスクをとってもらう事もコロナ禍無理なのでコミュニケーションがとりにくい状況がずっと続いています。

# 考察

## ■ 東日本大震災とコロナ禍の障害のある労働者に与えた影響に共通する要素

### ■ 生活場面と職業生活における危機的状況や制限等がもたらす急激な社会環境等の変化への適応プロセスにおける困難

…社会全体での緊急事態への対応が進む中で、障害があるが故に社会的な不利益を被らないよう十分な配慮と意識を持つことの重要性が示唆された。

### ■ 経済活動の全般的停滞による失業や収入への影響

…経済活動への大きな影響により、失業や収入の減少に直面した労働者も見受けられた。

### ■ 心理的ストレスや健康状態への影響

…障害者は特に、身体的や精神的に障害を抱えていることを踏まえ、心理面、健康面への対策を講ずる必要がある。

## 考察 職場において講ずべき雇用管理

### ■ 迅速な安全と健康の確保

…災害発生時には、障害のある従業員の安全を考え、的確な避難指示や感染防止対策の徹底を図る必要がある。健康の確保については、例えば、震災後の職業生活やコロナ禍のリモートワーク環境において、従業員の健康管理を支援するための方策を講じることが重要である。

### ■ 従業員の不安を軽減する情報提供や双方向のコミュニケーションの強化

…事業主は、従業員に対して出来得る限り客観的かつ正確な情報提供を行い、不安を軽減する役割を果たし、最新の情報を適時に共有することが重要である。また、聴覚障害・視覚障害のある従業員との双方向のコミュニケーションが確保できるよう配慮する必要がある。

### ■ 雇用の維持

…災害時、可能な限り雇用を維持し、障害のある従業員が安心して働ける環境を提供することが重要である。